

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。
そのなかで、当所経営指導員が会った「キラッ」と光る事業所の取り組みを
ご紹介させていただきます!



“最先端の切削機械”×“人”を協調させ 新たなイノベーションに挑む 高精度加工のフロントランナー

佐藤精機株式会社 代表取締役社長 佐藤 慎介 氏



平成の大不況を乗り越えて

創業は1955年。父の佐藤貞義が佐藤鉄工所として創業した。先代は機械加工に並々ならぬ情熱を持っていた。その思いを受け継ぎ、2代目社長の佐藤慎介さんは、更なる進化を目指して、50人の従業員とともに日々歩み続ける。

今では、精密部品の切削加工で高い技術を習得し、多くの上場企業や国の研究・開発機関と取引するまでに成長。他社が二の足を踏む、特殊金属や複雑な形状の加工に挑み、航空・宇宙・自動車分野の多品種超微量生産を行う先進企業としての地位を確立している。

精密加工へのきっかけはリーマンショックの数年前に、大手半導体製造装置メーカーから声がかかったことである。要求された形状や精度はこれまで経験したことがないモノであった。当時の苦労を、「社名にもある“精機”の名にふさわしいものづくりを目指し、播磨地域にない先端と呼ばれるものに挑戦したかった。」と振り返る。失敗もあったが他社が出来ることは自社でもできると自負し、何度もチャレンジし、新規顧客の立上げに成功した。その後、リーマンショックで世界的な不況となったが、その状況下でも人を増やし、設備投資も行って、高い技術力を習得した。この経験が佐藤精機の方向性を決定づけるポイントとなった。



播磨初のものづくりに挑戦する想いから作られたポスター

イノベーションをおこすために

2015年には「たつのテクニカルセンター」を立ち上げ、最新設備を導入した。特に同時5軸型マシニングセンターを導入することで工程を集約し、更なる高精度な加工を可能とした。近年は、航空機部品や宇宙開発関連部品など新しい分野へ挑戦。2017年には、JAXAより、はやぶさ2プロジェクトの使用部品としてFFTC使用輸送コンテナが採用された。

他にも現場スタッフには技能検定1級やQC検定の取得を会社方針として支援する。その結果、大企業主催の技能選手権で金メダル、今年は「平成31年度 文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞」を受賞した。挑戦し続ける、他社が引き受けない加工を追い求めた結果であった。そして、自社のブランド力や従業員のモチベーション、品質管理体制が向上するなどイノベーションが起こった。これまでの実績が広く認められ、今年6月には「はばたく中小企業・小規模事業者300社」(経済産業省)に選ばれている。



佐藤精機の高精度加工を実現するスタッフの皆様

今後の展望

今もなお、大手企業からの連絡は多く、工場見学希望者も年間300名にも上るそうだ。

佐藤社長は、「最近、一番嬉しかったのは、日産NISMOからレース用車両部品製作の依頼があったことだ。製作したエンジンカバーは、『過去、一番の出来だ』と言ってもらえた。本業から決して離れず、自社のレゾナードトル (存在理由) を追い求めた結果が、田舎の下請け企業でも、中央や世界に発信できるものづくりができることに繋がっている。マザー工場として、開発とものづくり双方を高めることが大切だと思う。これからも規模の拡大を無理に求めず少数人数でもハイエンドな加工技術を目指す集団として『できる方法』を考えていく。こんな小企業が地域に存在することを知られてほしい。」と語る。

DATA

事業内容：産業機器全般及び、部品の制作・組立各種、工作機械による切削加工
所在地：〒671-1261 姫路市余部区下余部240-6
電話：079-274-1047 FAX：079-273-6964 URL：http://ssc-e.co.jp/